

ミャンマー国の染色工場からの排水による水質汚濁の改善事業

実施機関・協力機関

(株)堀場製作所、日立造船(株)



事業の背景

- ワンディン市には、民族衣装ロンジーの織物工場が集中しており、その染色工程からの排水による周辺河川等の水質汚濁が問題となっている。
- 織物工場は約6,300カ所、その約10%が染色工程を持つ。
- 工場排水に対する規制・基準・罰則等がないため、排水処理設備は導入されず、排水はそのまま河川に排出されている。

事業の概要

- 近年益々発展しているミャンマーの織物産業に対して、産業の発展に伴う環境保全を推進するため、排水処理および水質モニタリングのシステムを導入し、染色排水による水質汚濁の改善およびO&M技術指導を行う。
- F/S調査(H27実施)および実証試験(H28実施)では、以下について実施
 - ・染色工場の規模、排水量、河川汚濁状況等を調査。
 - ・対象工場の染料および排水の分析より実証試験設備(排水処理とモニタリング)の仕様決め。
 - ・現地の水質汚濁防止に関する規制の動向調査。
 - ・実証試験設備の導入から排水条件に合わせて適正化。
 - ・排水処理設備導入の効果確認(河川への水質調査)。
 - ・試験設備のO&M技術指導。

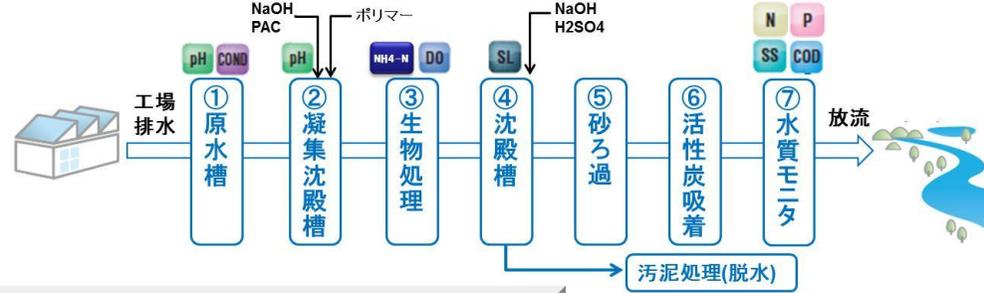
実施場所

ミャンマー国 ワンドウイン市



技術の概要

- **排水処理設備と水質モニタリングを組み合わせたシステム**
 - 多種多様な染色排水の条件に合わせて、**処理条件を適正化**
 - 排水モニタリングを含めたシステム全体での**トータルコスト低減**



期待される成果・事業化展望

- <期待される成果>
- 染色工場排水による水質汚濁の改善と公害の予防。
 - 水処理と水質モニタリングの併設により、持続的な水質汚濁の防止と環境保全への意識向上。
 - 設備のO&M技術向上により、継続的な設備運用。
 - 水質汚濁防止規制・排出基準の制定を促進。
 - 本モデルケースを通じて、日本の技術導入の促進。
- <事業化展望>
- 産業排水に対する水質汚濁防止の促進に伴い、排水処理EPCおよび水質モニタリング事業の構築。